

支部だより

在京支部

平成25年7月6日四ツ谷駅前スクワール麹町において、石井校長及び赤松同窓会長にもご出席いただき総勢79名が参加して盛大に在京宇佐高校同窓会を開催いたしました。

在京宇佐高校同窓会は、篠田前会長のご逝去に伴い数年間の活動休止状態から塔尾武夫会長を新たに選任した後、新執行部を組織して平成24年6月14日に数年ぶりの在京宇佐高校同窓会を開催しました。

今年度は、新しい体制になってから2年目になりますが、昨年約50名の出席数だったのに比べると1.6倍に増加することができました。その要因として、役員及び会員が丸ごととなったこと、なかでも徹底的に周知したこと、フェイスブック等のソーシャルメディアを活用したこと、この両方にあると考えています。

今年の同窓会では、矢目標会長から今後の在京宇佐高校同窓会の活動目的とビジョンとして、ホームページの充実による積極的な情報提供、各支部会、例えば、ゴルフスクールや写真サー



クルなどの発足による活動の多様化、卒業生の進学・就職のサポートなどについて発表いたしました。

組織の根本的な問題として、若い世代が圧倒的に少ない現状をどう打開していくか、在京の四日市高校との統合など問題は山積してあります。また、経済的にも脆弱な運営基盤ではあります。また、経済的にも脆弱な運営基盤ではあります。また、経済的にも脆弱な運営基盤ではあります。また、経済的にも脆弱な運営基盤ではあります。

事務局長 石川 和司(卒43期)

関西支部

平素は弊同窓会の運営において、同窓会本部のご指導並びに各支部関係者のご支援頂いておりましたこと、深く感謝申し上げます。

宇佐高等学校同窓会報(第3号)の発行に当たり、同窓会本部のご要請により、関西大分県立宇佐高等学校同窓会の活動概要をご報告致します。

旧宇佐高等学校、旧四日市高等学校及び旧長洲高等学校の統合に伴い、関西地区各校同窓会の統合が図られ、平成20年6月に準備委員会を立ち上げ、当時の各高等学校同窓会長及び関係者のご尽力によって平成21年6月設立総会を開催し、これを期に新生「関西大分県立宇佐高等学校同窓会」がスタートしております。

第2回目の総会は、本部副会長、宇佐高等学校長、佐々木氏及び大分県大分事務所長のご来賓を頂き、平成22年11月27日(土)に開催しました。又、この年は、新生宇佐高等学校の発展支援の一環として、毎年恒例の在校生海外派遣研修費用の一部を分担させて頂いております。

第3回目の総会は、同窓会本部会長、宇佐高等学校長、佐々木氏及び宇佐市長のご来賓を頂き、平成24年11月27日(火)に開催しております。

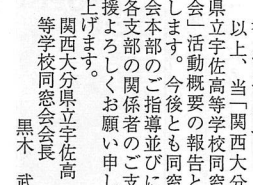
年々総会を重ねることに比較的年齢層の若い

方々並びに女性参加者の比率が増加傾向となっております。今25年度は、10月19日(土)に総会開催を決定しており、会員の方々のニーズに適切に対応される総会(懇親会)を目指し、第1回幹事会を3月27日、第2回幹事会を7月20日に開催し、検討を重ねてまいりました。

又、3校統合時の基本方針の重要なテーマの一つとして、3校同窓会々員住所の確認、整理、同窓会名簿作成発行を掲げており、これを受けて「名簿作成・発行委員会」を立ち上げ2回に亘って、検討を進めてまいりましたが、個人情報保護法等の壁に阻まれ現在止む無く中断にまでなっておりますが、今後本部のご支援並びに各支部の関係者のご支援をよろしくお願い申し上げます。

以上、当「関西大分県立宇佐高等学校同窓会」活動概要の報告とさせていただきます。今後とも同窓会本部のご指導並びに各支部の関係者のご支援をよろしくお願い申し上げます。

関西大分県立宇佐高等学校同窓会会長 黒木 武



北九州支部

時代の推移により少子高齢化に伴う高等学校の統廃合をせざるを得ない時期に、大分北部県立高校の合併が進められて参りました。

終戦の翌年に旧制宇佐中学校に入学しましたが、昭和23年の学制改革により旧四日市女学校に併合中学校として転校し、翌年新制四日市高等学校の発足となりました。

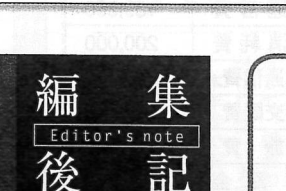
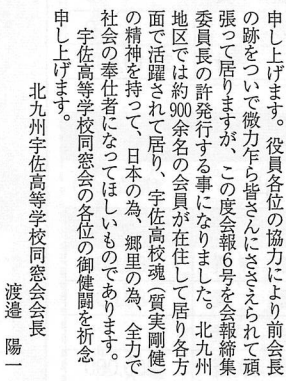
旧制宇佐中学校からは約80余名の男子が転校しました。

7～8年前ある日、旧制宇佐中学校2年先輩である羽山信夫氏よりTELあり北九州宇佐高校老上ヶ丘同窓会に顔を出してほしいとの要請あり、伺いました経緯があります。その際当時の四ツ谷会長にお会いし、北部高校の合併が県教育庁で検討されている話を聞き、悲しい思い出がありました。時が経過して1年、2007年(平成19年)新制宇佐高等学校

が誕生しました。北九州宇佐高等学校同窓会も四ツ谷会長の許、積年の宇佐高校老上ヶ丘を発展的に解消し、旧宇佐高校・旧四日市高校・旧長洲高校が合流した新制北九州宇佐高等学校同窓会が発足しました。四ツ谷前会長はもとより先人達の御尽力に敬意を表し、特に役員各位の御努力により今日の姿があります。名簿の確認、資料収集、入会促進、資金調達と御苦労された事を思います。ここにあらためてお礼と感謝を申し上げます。役員各位の協力により前会長の跡をついで微力乍ら皆さんにささげられて頑張っております。この度会報6号を会報編集委員長の許発行する事になりました。北九州地区では約900余名の会員が在任して居り各方面で活躍されて居り、宇佐高校魂(質実剛健)の精神を持って、日本の為、郷里の為、全力で社会の奉仕者になってほしいのであります。

宇佐高等学校同窓会各位の御健闘を祈念申し上げます。

北九州宇佐高等学校同窓会会長 渡邊 陽一



福岡支部

平成24年度の福岡宇佐高等学校同窓会が本年2月1日に福岡市営地下鉄天神南駅近くの天神テラにて開催しました。

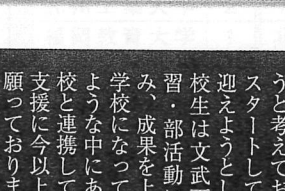
総会は、毎年2月の第1金曜日に開催を計画しております。当日は同窓会員32名と来賓(本部長、学校長、市長と秘書係長)4名の計36名で、盛大に開かれました。

当日の総会は平成23年度総会において、本部同窓会に準じて福岡地区も旧宇佐高同窓会、旧四日市高同窓会、旧長洲高同窓会を統合し、新たな同窓会として発足し、先ず四日市高校の卒業生に入学してもらい初めての総会でした。本年は旧長洲高校の卒業生で、福岡近郊に住所のある方へ入会の案内を出します。平成25年度の総会(平成26年2月7日予定)には、又新たな仲間が集って来られる事と思っております。

しかし、住所を調べております旧四日市高校と旧長洲高校共に名簿が古い為に住所不明で大多数のがきが返って来ております。お知らせの方で、福岡近郊にお住まいの

方がおられましたら、福岡地区に同窓会がありますとの連絡を取って頂き、是非入会される様に勧め下さい。連絡先は、携帯・0901796011293(身深幹事長まで)お願い致します。

福岡宇佐高等学校同窓会会長 河野 正志(18回生)



原稿募集

支部の活動で特徴的な事柄や人物・被表彰者等、同窓会報を通して広くお知らせしたいこと、回想等、ありましたら原稿をお寄せ下さい。尚、紙面の都合がありますので、字数は800字(写真のスペースを含む)以内で、写真は1枚とさせて頂き、積極的な投稿をお待ちしております。

編集後記

平成20年の第2号から5年ぶりの第3号です。学校の様子も5年前とは随分と変わってきています。ス

ペースがあればと思いかメラを手に校内を散策してみました。10月とは思えない日差しが強い日でしたが、樹木の中は心地よい風が吹き抜ける。まさに「森と緑と野鳥の学園」の素晴らしさを再認識しました。同窓会報Vol.13は如何でしたか。担当が変わったことや久しぶりの発行であつたこと等でご意見もあろうかと思っております。

是非とも感想や意見を頂戴してより良いものにしていこうと考えております。新校がスタートして間もなく10年を迎えようとしております。在校生は文武両道を目指し学習・部活動に熱心に取り組む、成果を上げ満足度の高い学校になっております。そのような中において同窓会も学校と連携し今後輩たちの教育支援に今以上取り組みたいと願っております。

宇佐高

統合7年目を迎えて

平成19年度に旧四日市高校と旧宇佐高校が発展的統合を遂げ、新宇佐高校が開校して今年で7年目を迎えました。この間「剛健、友愛、創造」の校訓のもと「地域の生徒は地域で育てる」を使命として、施設・設備面の充実のもとより、さまざまな教育システムを整えながら、地域の方々や保護者の皆様から愛され信頼される学校づくりに取り組んできました。

とりわけ、多様な進路希望を持つ生徒一人一人の可能性を最大限に引き出すための進路指導・学習指導の在り方を最重要課題の一つに位置づけ、毎年その工夫、改善に努めてきたところです。

現在は、1年次を学習到達度と希望に応じて、スタンダードとアドバンスの2コースで学級編成し、2年次からは文科系と理科系それぞれに国立型と私立型の計4コースの教育課程を用意し、県内でも最多の週35時間授業を実施しています。

さらに、英語と数学の学習習熟度別授業や少人数授業、自学自習力を養う朝学習や放課後学習、面接・小論文指導、個別添削指導等、きめ細

かな学習指導のシステムが整っております。

また、進路指導では1年次からの大学・学部科学研究や職業研究、大学訪問、学習の仕方を見直すスタディ・スキル講座など、早期からの進路意識の高揚に力を入れています。

少子化の中、県北地域におきましても緩やかではありますが生徒減少が進んでおり、新高校4年目は学級減を余儀なくされました。しかしながら、この6年間の進学実績を振り返ってみますと、国立大学の進学結果では、統合当初からの目標水準を達成することができており、さらには、入学時の全国順位と3年後の国立大学進学結果から算出する伸び率を指標とすれば、今春は県内でトップ、九州では5位という結果で、よく健闘していると言えます。

一方、特別活動面では、文武両道の校風のもと文化系・体育系それぞれに多種、多彩な部活動を開設し、生徒会主体の創意工夫ある学校行事づくりやPTAと協働した地域の清掃奉仕活動など、心身を鍛え、社会性や協調性、思いやりや感謝の心を涵養する取り組みの充実を図っています。特に、部活動については、近年、ウエイトリフティング、相撲、弓道、陸上、書道などにおいて好成績をあげており、九州大会や全国大会に出場を果たしています。

今後とも、同窓生の皆様をはじめ、地域の方々や保護者の皆様の期待に応えながら、真に魅力あり選ばれる学校となるよう、教育システムの一層の充実を図ってまいります。変わらぬご支援のほどよろしくお祈り申し上げます。

(文責 教頭 阿部尚人)



Vol.3

2013.11.20発行

住所

宇佐市大字南宇佐 1544の2

Tel&Fax

0978-37-1908

宇佐高校同窓会

同窓会長 赤松 健一郎



平成19年大分県北部県立高校の統廃合が進められ、新生宇佐高校が誕生し、同時に宇佐高校同窓会も発足されました。

旧高校同窓会の会長・役員様を始め、旧会員の皆様又発足にあたりご苦労された各位にあらためてお礼と感謝申し上げます。

新任ご挨拶

校長 石井 雅晴



同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、毎年、海外派遣事業等、在校生への温かいご支援を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。本年4月の異動で赴任いたしました石井でございます。母校の郷土の若者の育成に当たることができ、大変光栄に存じます。とくにその重責を痛感しております。どうぞよろしくお祈りいたします。

朝、桜並木の坂を登りますと既に多くの生徒らが登校し、「おはよう」の元気な声が響き交います。しばらくすると朝学習の開始です。教室を見れば、しんと静まりかえった中に心地よい緊張の空気が流れ、真剣に課題に取り組み生徒たちの姿に清々しさを感じます。そして、放課後になれば、体育館やグラウンドなどで部活動に汗を流す多くの生徒たちの姿に触れることができ、まさに文武両道の

を申し上げます。並びに引き続きご支援ご指導お願い申し上げます。宇佐高校同窓会も発足以来今年で7年目を迎えることが出来ました。生徒にも地域にとっても魅力ある宇佐高校造りに出来る限り協力させていただきます。

海外短期留学の支援・文化活動の支援、学校図書館の書物の充実等々です。今後ともご支援の程よろしくお祈りいたします。本校卒業生も1,000名を超える生徒が学舎を巣立ち、同窓会にも入会しています。入会式では、東京・大阪・北九州・福岡の同窓会所在を生徒一人一人にお知らせしています。後輩のご指導よろしくお祈りいたします。

3年後は10年の区切りです。統合同窓会初めでの卒業生名簿作成も徐々に進んでいます。同窓会会員の皆様のご健勝、今後引き続きご指導賜りますことお願い申し上げます。

校風が受け継がれていることを感じます。

また、本校は、花と緑があふれ野鳥が憩う自然豊かな環境の中、エアコン完備の各教室に加え、多くの部活動に専用の建物やスペースが整備され、相当の収容可能な同窓会館は、進学講演会や学年行事等に積極的な活用を図るなど、大いに教育効果を上げております。

近年、少子化が進む中、現代の子供もたちはその成長過程において、体験から学ぶ機会が何と不足していると言われます。本校3年間の教育では、生徒たちに将来を切り開くための確かな学力だけでなく、多少の困難に遭遇しても容易に挫けない、いわば乗り越える力というものを身につけさせることが何より重要であると思っております。

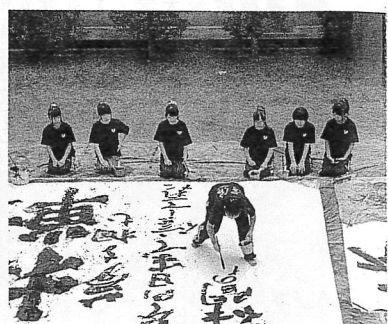
そのため、生徒たちには、早期にしっかりとした将来の目標を持たせ、その実現に向けて日々努力することの大切さを教えながら、一人一人に応じたきめ細かな学習指導・進路指導の徹底を図るとともに、部活動をはじめ、学校行事、生徒会活動、ボランティア活動など、多様な体験活動の充実を努めてまいります。どうぞ今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお祈り申し上げます。

文化の部

～笑顔・感動そして絆～

文化の部は、19日(水)～20日(木)に開催されました。体育館ステージ中央には、今年のメインテーマ「ショウタイム!」をイメージした生徒作成の壁画が飾られ、全校生徒の思いが結集しました。

大会もあり、大いに盛り上がりました。一人ひとりが自分の役割をこなし、全力で取り組み、全力で楽しんだ文化の部、みんなの笑顔がいつばいで、クラスの絆を感じた感動の2日間でした。



24年度 学校行事の紹介 茜祭

平成24年度茜祭は9月19日(水)～21日(金)に開催されました。

メインテーマは「ショウタイム!」。ショウタイムの「ショウ」には、勝利するの「Show」、笑顔の「笑」の3つの意味が込められています。茜祭を通じて、みんなが自然と笑顔になれるようなものになりたいという思いからテーマを「ショウタイム!」とだけあって、生徒会執行部・文化委員を中心に、6月から3カ月かけて創りだされたものは、最高の形で結集しました。

体育の部

～繋がり～

体育の部は、21日(金)に快晴の青空の下、グラウンドで行われました。全校生徒が、白・赤・黄・青の4つの団に分かれ、優勝に向けて、学年の枠を越えて団結して頑張りました。

上がりました。午後は、団体戦が続き、力を合わせて一生懸命にプレーする姿と必死に応援する姿が見られました。最後に、茜祭のテーマソング「手をたたく」とオクラホマミキサーを全員で踊り、体育の部を締めくくりました。結果は、青団がV4を達成しました。

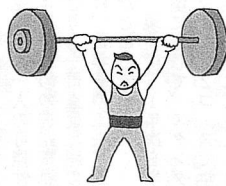
選手宣誓は、前年度優勝した青団の団長が行い、戦いが始まりました。午前中の短距離走では、声援を受けて懸命に走り、各クラス全員で挑む「心をつなぐ」では、クラス担任も参加して二人三脚で盛り



在校生の活躍



部活動の成果



ウエイトリフティング部

平成18年10月1日 宇佐高等学校と四日市高等学校の統合により、大分県立宇佐高等学校として開設。平成19年4月1日より、開校となる。
開校当初から、四日市高校ウエイトリフティング部の精神を継承し活動を行い、本年度（H25）で7年目となる。人としての成長を第一の目標とし、競技では全国で入賞（ベスト8）を目指している部活動です。主な成績は九州大会では4名の優勝、平成21年度に長岡一幸・平成25年度に安部浮武紀が全国高等学校総合体育大会（インターハイ）で準優勝をしています。平成25年度現在で1年生4名・2年生4名・3年生2名で活動しています。



宇佐高校は、学校規模の割に開設の部活動が多く、更には他の学校にない種目もあり、生徒にとっては自分を磨くための選択の幅が広がっています。また、入部率も毎年8割を超え、伝統の継承と実績づくりが着実に進んでいます。平成25年度の部活動等は、体育の部では、相模・軟式野球・硬式野球・ウエイトリフティング・剣道・硬式テニス・卓球・陸上競技・弓道・バスケケットボール・バレーボール・サッカー・バドミントン（同好会）があり、文化の部では、新聞・美術・書道・吹奏楽・JRC・生花・茶道・E.S.S.放送・科学・家庭・プログラミング（同好会）があります。
限られた練習時間の中で、立派な施設・設備を十分に活用して、生徒達は頑張っています。近年は個人競技の活躍が主となっており、チーム力の向上も進んでおり、団体競技での活躍（成績）が今後期待される場所でもあります。
同窓生の皆様方には、あらゆる場面で後輩達の活躍を気にかけていただき、本当にありがとうございます。生徒達も、多くの方からの期待

全国大会出場者の成績

○ウエイトリフティング部

第61回大分県高等学校総合体育大会（平成25年6月2日（日））
53kg級優勝 砂山 昂大（すなやまこうだい）（2年） ※九州大会・インターハイ出場
62kg級2位 久保田隼斗（くぼたはやと）（3年） ※九州大会・インターハイ出場
69kg級優勝 佐藤 右規（さとうゆうき）（2年） ※九州大会・インターハイ出場
85kg級優勝 安部浮武紀（あべふぶき）（3年） ※九州大会・インターハイ出場
九州大会優勝、インターハイ第2位

○弓道部

第61回大分県高等学校総合体育大会（平成25年6月2日（日））
個人第2位 近藤佳乃子（こんどうかのこ）（3年） ※九州大会・インターハイ出場
平成25年度国民体育大会少年の部大分県選手選考会
個人第3位 荒川はるか（あらかわはるか）（3年） ※九州ブロック国体出場

○ゴルフ競技（少年男子 チーム大分）

坂本隆一（さかもとりゅういち）（1年） 葛城史馬（かつらぎふうま）（1年）
九州ブロック大会夏季大会第2位 ※本国体出場

を励みとしながら、日々厳しい練習を積んでいます。これまでと変わらぬご支援・ご声援をいただければ幸いです。

弓道部

本年度、弓道部はOBである園田さんに指導をいただきながら「県制覇」を目標に練習に励んでいます。しかし、6月に行われた高校総体では、その壁の厚さを実感させられる結果となりました。その体験を通して、自分達の力不足を自覚し、何が足りなかったのか、試行錯誤しながら練習に工夫を凝らし、部員一同心をついに練習に取り組んできました。そのおかげで、個人戦でインターハイ出場、国体九州ブロック大会出場を勝ち取ることができたのです。弓道は心技体がそろってこそ、結果を出せる競技だと思えます。特に、精神面の充実が大きく影響します。私達は弓道に誠心誠意打ち込むことを通して、一人の人間としても成長していきたいと考えています。

新宇佐高校最高の進路成績！

～新宇佐高第6期生進路状況～

平成25年3月卒新宇佐高第6期生は、統合以来の6学級体制から5学級体制へと生徒減になった最初の学年でした。その分、進路成績も厳しいものになることが危惧されましたが、本校での3年間で日々力を付け、逆に大阪大、筑波大など国立大現役合格数では新宇佐高校最多を更新する55名の合格をはじめ、見事な進路成績を残してくれました。入学時点で国立大合格可能ラインを超えて入学した生徒数との比で204%の合格率であり、この数値は九州内の高校でもトップ5の好成績です。
現在在籍中の7～9期生も、この6期生の躍進に続くべく日々精進しております。卒業生の皆様におかれましては今後とも温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

平成25年3月卒業生の主な進路先

国立4年制大学	合格者数	公立4年制大学	合格者数	私立4年制大学	合格者数
筑波大学	1	横浜市立大学	1	専修大学	2
長岡技術科学大学	1	大阪府立大学	1	日本大学	1
大阪大学	1	兵庫県立大学	1	東京農業大学	1
広島大学	2	尾道大学	1	明治学院大学	2
愛媛大学	3	県立広島大学	1	同志社大学	1
九州工業大学	2	下関市立大学	3	近畿大学	2
福岡教育大学	1	北九州市立大学	6	関西学院大学	2
長崎大学	2	福岡県立大学	2	久留米大学	3
熊本大学	3	長崎県立大学	2	西南学院大学	7
大分大学	2	大分県立看護科学大学	3	福岡大学	10
鹿児島大学	3	宮崎県立看護大学	1	別府大学	4
琉球大学	1	名桜大学	5	立命館アジア太平洋大学	1

※平成25年度卒業生数 198名

《進路合格状況》

国立大学	62名	私立大学	127名
公立短期大学	9名	私立短期大学	19名
大専科	8名	専門学校	57名
就職	12名		(過年度生含む)

授業への取り組み

平成19年4月の発展的統合により、現在の宇佐高校は、宇佐市においてより大きな普通科進学校としての役割を担い、新しく出発しました。
『地産・地消』の言葉通り、宇佐の地で生まれた生徒の皆さんには、地元宇佐でしっかりと教育を受け、それぞれの進路目標を達成し、将来はこの宇佐を支える人材となるように日々学習活動を続けています。統合当初は1学年6クラス編成でスタートした本校ですが、生徒数の減少期にあたり、平成22年度入学生5クラス・平成23年度入学生4クラス・平成24年度入学生5クラス・平成25年度入学生5クラスと変化しており、現在は入学生数の確保が今

後の大きな課題となっています。教育活動においては、授業第一と考え、大分県内の高校でも数校しか実施していない週35時間の授業を行っています。学力向上の成長の大きな要素は、真剣に学習に取り組む姿勢が重要であり、その基本を本校では日々の授業でも考えています。
また、教育課程においては、まず、1年生に対してスタンダードクラスとアドバンスクラスを設置しています。本校に入学してくる生徒全員に対して、普通科進学校の生徒として身に付けなければならない、基本的な知識・学力は全員に身に付けてもらう（スタンダード）また、入学時より高い目標を抱いて入学している生徒に対しては、スタンダードでの学習にプラスしてより高い学習を行う（アドバンス）の2つにより、学習活動を進めています。2年次か

らは、文系（国立コース・私立コース・理系）国立コース・私立コースの4コースを設置し、早期から生徒の多様な進路目標を達成するために工夫しています。授業以外の学習活動、特に放課後の自主学習においては学年別に学習室（冷暖房完備）を設置して、午後7時30分の最終下校時間まで、真剣に学習に取り組む多くの生徒の姿があります。また、放課後の個別指導も充実しており、3年生を中心として生徒の進路目標に応じた個別の課題に対して、担当の教員からの指導が行われています。
本年度で新宇佐高校9回生を迎えました。更なる発展のため、教育環境を充実させ努力していきます。

Dosou Report 同窓活動 報告

統合6年間の 同窓会の歩み



旧長洲・四日市・宇佐高校の同窓会が一つになり、新たな「宇佐高校同窓会」が誕生して6年が過ぎようとしています。大分県の高校再編整備計画の実施に伴い、長洲・四日市・宇佐高校の3校が統合し、現在の新宇佐高校が誕生しました。

まず、新校推進準備会が発足し準備を進めてきました。新校発足にあたりさまざまな課題が出てきました。また、双方(四日市・宇佐高校)の生徒会は合併後の学校について前向きに話し合いをし準備を進めてきました。推進準備会・3校の同窓会は、合併後に向けて多くの問題を解決するために幾度も会議を重ね色々なご意見を賜りながら進めてきました。

その一つは、通学の問題でした。四日市西部地区の生徒をどうして通学させるのか。西部中学校、北部中学校から通学するにはかなり遠距離となるのでスクールバスの運行はどうか。その場合、経費はどうするのか等々…。

更には、普通科の通学区が廃止になり、大分県内の普通科進学校希望者は県内どの学校でも受験できるようになりました。そうなれば生徒は中津方面へ流れていくのではなからうかなど。

また、制服・校章等の問題。特に高校の名称については教育委員会からの投げかけがあり、公募することとなり結果、数多くの応募の中で、「大分県立宇佐高等学校」というのが一番多く、宇佐市を代表する普通科高校としてふさわしい校名であるとして、決定されました。この件に関し多くの同窓生から、ご意見を頂きました。おかげで、現在は合併前のそれぞれの伝統を引き継ぎ、新しい宇佐高校として、県北一番の高校を目指しています。

現在の同窓会は、在京(関東)・関西・福岡・北九州の同窓会が発足し親睦を深め活動をしています。それぞれの地区で総会が開かれていますので、是非参加してください。新高卒業生も1,300名を超えました。宇佐高校同窓生として各地で活躍しています。各地区同窓会に参加したら同窓生の先輩諸氏の励ましをお願いします。

(文責 落合義典 四日市17期卒)

会計報告

H24年度 一般会計決算書

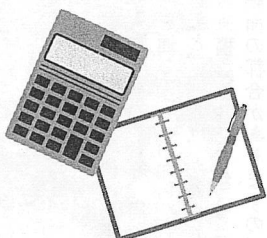
(1) 収入 (単位:円)		(2) 支出 (単位:円)	
項目	収入済額	項目	支出済額
繰越金	3,950,684	会館維持費	374,166
会費	0	会議費	8,896
入会金	990,000	総会費	114,847
雑収入	393	H P 運営費	189,000
合計	4,941,077	印刷消耗費	150,921
		経常費	
		通信費	137,133
		交際費	63,020
		旅費	220,720
		書記賃金	638,800
		教育助成費	1,213,000
		予備費	0
		残	0
		合計	3,110,503

(3) 繰越額 (単位:円)

収入済額 - 支出済額	
= 次年度繰越金	
4,941,077 - 3,110,503	
= 1,830,574	

H25年度 予算書

(1) 収入 (単位:円)		(2) 支出 (単位:円)	
項目	25年度予算	項目	25年度予算
繰越金	1,830,574	会館維持費	380,000
会費		会議費	80,000
入会金	1,580,000	総会費	0
雑収入	500	会報発行費	250,000
合計	3,411,074	H P 運営費	189,000
		印刷消耗費	200,000
		経常費	
		通信費	140,000
		交際費	100,000
		旅費	230,000
		書記賃金	650,000
		教育助成費	1,180,000
		予備費	10,000
		残(次年度へ)	2,074
		合計	3,411,074



行事報告

4月	第1回役員会 第6回入学式		
5月	海外派遣生徒認証式 中間考査		
6月	第2回役員会 高校総体	11月	第7回役員会 同窓会総会
7月	在京宇佐高校同窓会総会 第3回役員会	12月	2年修学旅行 冬季補習授業
8月	夏季補習授業 第4回役員会	1月	1・2年新春百人一首大会 3年センター試験
9月	茜祭~文化祭・体育大会 第5回役員会	2月	福岡宇佐高校同窓会総会 同窓会入会式
10月	北九州宇佐高校同窓会総会 関西宇佐高校同窓会総会 第6回役員会	3月	第6回卒業式 アートフラワー教室

総会開催のお知らせ

期日：平成25年11月23日(土)
場所：宇佐ホテルリバーサイド
時間：受付 15時30分~
総会 16時~
懇親会 18時~

参加費：5,000円

対象：旧長洲高校・旧四日市高校・
旧宇佐高校卒業生

新たな出発をした宇佐高校も今年で7年目を迎えます。また、同窓会も3校の同窓会が一つになり、諸先輩方のご尽力により円滑な運営が行われ、新たな取り組みも始まろうとしております。今年度は、会報発行を総会までには間に合わせようと関係者一同急ピッチで準備しております。同窓生の皆様のご参加をお願いいたします。